

タバコ対策についての“十四大都市医師会東京宣言”

私たち十四大都市医師会は、健康寿命の延伸・元気で活力ある健康的な都市の実現のため、医療の専門家集団として

- ・市民に対して、自分や他者に及ぼすタバコ(加熱式タバコを含む)の有害性について十分な理解が得られるように努めます
- ・習慣的な喫煙行為が、ニコチン依存症となる危険性があることを啓発し、また、ニコチン依存症者に対しては継続的な禁煙を支援します
- ・行政に対して、完全な受動喫煙防止が達成できるような措置を求め、それに協力します
- ・未来の担い手である子ども達に対して、喫煙防止教育の徹底・充実に向けて、学校医等の立場から協力します
- ・自らの会員に対して、禁煙の必要性のさらなる理解を進め、市民の模範となるべく、“会員の喫煙率ゼロ”を目指します
- ・タバコのない社会・都市を最終的な目標にします

以上、宣言いたします。

平成29年10月

十四大都市医師会連絡協議会

札幌市医師会、仙台市医師会、千葉市医師会、川崎市医師会、
横浜市医師会、名古屋市医師会、京都府医師会、大阪府医師会、
堺市医師会、神戸市医師会、広島市医師会、北九州市医師会、
福岡市医師会、東京都医師会